

第33回「全国みどりの愛護」のつどいにおいて、「つつぶな公園あじさいボランティアの会」が、花と緑の愛護に顕著な功績のあった団体に贈られる、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

つつぶな公園あじさいボランティアの会は、活動場所である「つつぶな公園」の開園に合わせて、平成6年に故渡邊義彦氏を中心に有志が集まり、町の花になっているアジサイが溢れる公園づくりを目指して活動を始めました。長年にわたり、挿し木、植付けなどを続け、現在は公園内で90種3万株のアジサイを管理しています。

また、毎年、アジサイの見ごろの6月に、当会が実行委員会を務め、「南部町あじさい祭り」を開催しています。

この度、これまでの取り組みが評価され受賞となりました。

おめでとうございます。



表彰状を囲んで（老若男女メンバー募集中です）

“社会を明るくする運動”強調月間

～保護司から内閣総理大臣のメッセージを伝達しました～

社会を明るくする運動とは、すべての国民が犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。

7月1日から1か月間の強調月間にあわせ、保護司から内閣総理大臣の運動協力を求めるメッセージが町長に伝達されました。



「# 生きづらさを生きていく。」



伝達式の様子